

課題名：邑楽館林地域の園芸品目生産振興

【評価できる点】

- (1) 土地利用型農業を推進するにあたり、加工業務用野菜の産地化を目標に設定した点は評価できる。
- (2) 野菜の需要が家計消費から加工業務用にシフトしている現状を捉え、地元の加工会社と連携して生産から販売まで一貫した取組となっている。
- (3) 栽培面積増やキャベツ収穫機の導入、担い手の育成と当初の目標以上の成果をあげ、生産者の所得安定も図っている。

【改善・強化に向けた検討事項（意見・要望と対応策）】

1 課題や目標設定に関すること

◆意見・要望

- (1) 設定目標が加工用野菜の栽培面積のみだったのが改善すべき点である。

2 活動内容に関すること

◆意見・要望

- (1) 今後の課題として雇用の安定を確立して欲しい。
- (2) 契約野菜は、受け取る業者の立場が強い傾向にある。生産者と業者の双方がウィンウィンになることが次の課題である。
- (3) マーケットインに基づく生産振興に取り組み、産地化に成功している。課題にもあるが、今後、産地間競争が激しくなってくるので、競争力のある産地作りを願いたい。